

事務事業調書

平成27年度

事業No	95	課	財政課	係	管財係	起案者	鈴木昭雄
						決裁者	岩瀬康二
事務事業名	普通財産管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 4 行政経営 3 財政運営 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		一般会計						
				予算科目(款・項・目)		10-5-55						
				総合計画以外の計画								
				関連する総合計画の施策								
				性質区分	市の内部事務事業							
根拠法令	有	公有財産規則、公有財産事務取扱規程										
法定受託事務	無											
公約・議会答弁	有	平成22年6月議会：普通財産の活用については一時的な利用も含め有効な活用方法を考えてまいりたい。										
陳情・市民要望	無											
実施方法	直営		委託先									
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了			期間		
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		普通財産(土地・建物)				~になる		適正管理と併せ有効活用される。			
事務事業の内容	・普通財産として管理している市有地の有効活用として、駐車場と店舗の貸付を行います。 ・普通財産として管理している市有地を適正に管理するとともに貸付・売却等により有効活用を図ります。											
改善・対策の履歴	・売却可能な土地は十分な調査をしたうえで処分を行い、トラブルが生じないよう行っています。 ・土地の暫定利用方法として、短期貸付を行い有効活用を行っています。 ・定期巡回を行い不法投棄などの防止抑制をし、適正管理を行っています。											

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	28,315	18,220	32,025	22,465	18,902
財源計	17,605	11,920	25,725	16,165	12,602
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	17,605	11,920	25,725	16,165
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	10,710 (1.70)	6,300 (1.00)	6,300 (1.00)	6,300 (1.00)	6,300 (1.00)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	駐車場貸付	見込	159.00	124.00	138.00	134.00
			実績	159.00	131.00	128.00	
	指標名 (単位)	台数(台)	活動の総事業費 (千円)	4,205	3,361	1,096	
			活動にかかるコスト (千円)	26.45	25.66	8.56	
活動2	活動名 (活動内容)	店舗貸付	見込	9.00	9.00	12.00	12.00
			実績	9.00	10.00	12.00	
	指標名 (単位)	店舗数(店)	活動の総事業費 (千円)	2,076	1,649	1,890	
			活動にかかるコスト (千円)	230.67	164.90	157.50	
活動3	活動名 (活動内容)	普通財産の活用	見込	110.00	120.00	125.00	130.00
			実績	117.00	123.00	127.00	
	指標名 (単位)	貸付・処分(箇所)	活動の総事業費 (千円)	19,358	11,212	17,521	
			活動にかかるコスト (千円)	165.45	91.15	137.96	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	土地活用率(%) (土地利用面積/土地管理面積)(%)			目標	90.00	92.00	93.00	94.00
				実績	91.70	92.00	93.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	建物活用率(%) (貸付建物面積/建物面積)(%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	97.00	98.00	100.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	・駐車場を設置し違法駐車の見極め防止と土地の有効活用を図ることができました。 ・新幹線及び北部土地地区画整理後の市有地を抽選処分することで優良宅地供給に貢献しました。 ・H26年度歳入(211,822,973円) 貸付＝駐車場7,293,900円、店舗9,331,700円、町内会・国県・法人等30,440,871円 売却＝市有地164,756,502円
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	①駐車場貸付は、朝日町駐車場を市営駅東駐車場と一体化するにより台数は減少しましたが、新しく駐車場整備等を行わなかったためコストは下がりました。 ②店舗貸付は、空き店舗がなくなりコストが下がりました。 ③普通財産の活用は、貸付・処分が、前年度123箇所に対して127箇所に増加しましたが、処分に向けて整備したためコストは上がりました。
成果	1. H26年度の土地の活用率は93%と前年度と比べ活用率が上がりました。内訳は面積146,699㎡に対して貸付地75,822㎡、地元管理地24,779㎡、事業用地・区画整理等35,211㎡の計135,812㎡の活用ができました。 2. H26年度の建物の活用率は2箇所の空き店舗がなくなり100%活用ができました。(面積4,375.35㎡)

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
・貸付か売却かを的確に見極めると同時に、活用できない土地の処遇の取扱いの検討を引続き行い、新たな活用策を考えます。 ・普通財産で管理している土地は、色々な諸事情のある土地が多く、貸付や売却時には地元の意見等十分行い、また、土地の歴史を十分調査したうえで適切な処分を行います。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	・普通財産の貸付や売却等が円滑に行えるように定期的な巡回と合わせて、適正な維持管理を行いながら不法投棄や放置車両などの未然防止も実施します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	97	課	財政課	係	管財係	起案者	荒井昭彦
						決裁者	岩瀬康二
事務事業名	公用車整備事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 4 行政経営 3 財政運営 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		10-5-55			
				総合計画以外の計画					
				関連する総合計画の施策					
				性質区分		市の内部事務事業			
根拠法令	有	道路運送車両法・施行規則、労働安全衛生法							
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	無								
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		職員が			~になる		安心安全に庁車を利用できる	
事務事業の内容	道路運送車両法及び労働安全衛生法に基づき、庁用自動車を安心安全に運行できるよう、車検、定期点検等の維持管理を行います。								
改善・対策の履歴	平成24年度から車検の全てを外注委託に移行するとともに、整備士2名体制から1名体制に変更し整備工場の業務改善を行いました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目		平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費		35,183	30,453	35,962	31,116	32,613
財源計		24,473	22,263	27,772	22,926	28,518
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	24,473	22,263	27,772	22,926	28,518
受益者負担金		0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)		10,710 (1.70)	8,190 (1.30)	8,190 (1.30)	8,190 (1.30)	4,095 (0.65)
人事課予算分 人件費		0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	公用車管理	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	整備計画策定(式)	活動の総事業費 (千円)	3,075	3,075	3,075	
			活動にかかるコスト (千円)	3,075.00	3,075.00	3,075.00	
活動2	活動名 (活動内容)	定期点検整備	見込	500.00	500.00	500.00	500.00
			実績	596.00	530.00	524.00	
	指標名 (単位)	整備延台数(台)	活動の総事業費 (千円)	12,635	10,115	10,115	
			活動にかかるコスト (千円)	21.20	19.08	19.30	
活動3	活動名 (活動内容)	車検整備	見込	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	直営整備台数(台)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	市整備工場による車検実施率(%) 車検直営実施台数/車検対象台数(%)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	平成24年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成		
成果2	定期点検時の整備不良のない割合(%) 整備不良のない台数/公用車台数(%)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
				実績	100.00	100.00	100.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成

5 成果1、2以外の成果

成果	点検受付時に所管(利用)課からの整備要望等を直接聞くことで、小さな不具合も早期に把握・発見することができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	車検台数及び定期点検整備が、前年度よりそれぞれ減少したため単位コストは減少しました。
成果	一元管理により効率的な運用を図ることができました。 ・平成23年度：一元管理車25台、3台の削減。 ・平成24年度：一元管理車32台、2台の削減。 ・平成25年度：一元管理車36台、2台の削減。 ・平成26年度：一元管理車37台、1台の削減。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
平成24年度から整備士2名から1名に改善したことにより全車検の民間委託を実施し業務の見直しを行ったが、法定点検の委託化推進と同時に、今後の整備業務の直営と外注委託への区分けを明確にしていく必要がある。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	自動車整備計画に基づき安全性を確保しながら、全車検の民間委託継続と新たに法定点検の民間委託化を推進し、公用車整備の在り方を検討していきます。

事務事業調書

平成27年度

事業No	98	課	財政課	係	管財係	起案者	荒井昭彦
						決裁者	岩瀬康二
事務事業名	公用バス運行事務				事業種別	定型事務	

1 事業概要

総合計画体系	6 市民が主役となる環境づくり 4 行政経営 3 財政運営 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策				予算科目(会計)		一般会計			
					予算科目(款・項・目)		10-5-55			
					総合計画以外の計画					
					関連する総合計画の施策					
					性質区分		市の内部事務事業			
根拠法令	有	市有バス運行要領								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成元年度		経過	26年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が						~になる			
事務事業の内容	大型バス1台・マイクロバス2台により市民活動の研修会場などへの安全運行を行います。									
改善・対策の履歴	大型バスを平成18年3月に「平成17年排出ガス基準」の環境適合車に更新しました。 マイクロバス1号を平成18年12月に低排出ガス車に更新しました。 マイクロバス2号を平成20年8月に「平成17年排出ガス基準」の環境適合車に更新しました。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	15,208	14,871	15,510	14,361	17,940
財源計	4,498	5,106	5,745	4,596	12,585
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,498	5,106	4,596	12,585
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	10,710 (1.70)	9,765 (1.55)	9,765 (1.55)	9,765 (1.55)	5,355 (0.85)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	マイクロバス運行	見込	250.00	250.00	250.00	120.00
			実績	232.00	236.00	233.00	
	指標名 (単位)	運行回数(回)	活動の総事業費 (千円)	11,591	11,064	10,463	
			活動にかかるコスト (千円)	49.96	46.88	44.91	
活動2	活動名 (活動内容)	大型バス運行管理委託	見込	120.00	120.00	120.00	120.00
			実績	139.00	157.00	161.00	
	指標名 (単位)	運行回数(回)	活動の総事業費 (千円)	3,326	3,807	3,898	
			活動にかかるコスト (千円)	23.93	24.25	24.21	
活動3	活動名 (活動内容)	マイクロバス運行管理委託	見込	0.00	0.00	0.00	120.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	運行回数(回)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値	達成状況				
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値	達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	・市マイクロバス2号は、Nox・PM法の規制により最新の規制適合車に平成21年8月に更新し、環境に配慮しました。 (市マイクロバス1号は、Nox・PM法の規制により環境適合車に平成18年12月に更新をし、環境に配慮しました。)(大型バスは17年度に最新の規制適合車に更新済。) ・乗車待時の空調運転は必要最小限としています。
成果	

7 所属長の改善案
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
・常に安全運行に心掛けて、乗車者を送迎します。 ・大型バスおよびマイクロバスの年間の利用調整を引き続き行い、効率的な運行をします。

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	講座及び研修会の目的地への移動手段としてバスは適切な交通であります。主管課には適確な候補地の選定と時間にゆとりをもった企画を指導するとともに、運行日程の調整をバス運転手と十分図り効率的な運行に努めます。